

令和6年分確定申告

- ・所得税の確定申告について 岡西大寺税務署 ☎086-942-3815
- ・市県民税の申告について 岡税務課 ☎0869-22-1114



申告が必要な人は
早めに準備をしましょう

所得税と市県民税の申告相談が、令和7年2月17日（月）から3月17日（月）まで行われます。申告が必要な人は、早めに書類などの準備をしましょう。

申告相談会場の開設は、申告相談の期間中のみとなりますが、所得税の還付に関する申告書は1月から税務署にe-Taxなどで提出できます。

申告にあたっての注意事項

青色申告、消費税申告、過年分の申告、住宅借入金等特別控除、株式、土地などの譲渡所得、本人死亡の場合の申告相談は、市が開設する申告相談ではお受けできません。税務署が開設する申告相談を利用してください。

※市が開設する会場の開催日程は、広報せとうち2月号に掲載します。

※e-Taxは市の申告会場には設置していません。

社会保険料控除の
対象金額を確認しましょう

令和6年1月1日から令和6年12月31日までに支払った国民健康保険税・介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料は、所得税や市県民税の社会保険料控除の対象となります。

ただし、年金から直接差し引かれた場合は、直接差し引かれた年金受給者本人の控除となり、口座振替や納付書で支払った場合は、実際に支払いをした人の控除となります。領収書や通知、通帳で確認し、申告書に記入してください。

また、市に納付した保険税、保険料については、申告書に領収書を添付する必要がありますが、1年間の支払額を知りたい人は、本人確認のできるもの（マイナンバーカードなど）を持参の上、税務課へお問い合わせください。

確定申告は マイナンバーカードで e-Tax

マイナポータル連携で
控除証明書などのデータが
自動入力できます！

※利用には事前準備が必要です。



マイナポータル連携の
詳細はこちらから



「確定申告書等作成コーナー」では
金額などを入力すると
自動計算で申告書が完成！



申告書作成コーナーは
こちらから
※令和6年分の確定申告書等作成コーナーは令和7年1月上旬に公開予定です。

便利なe-Taxをぜひ
ご利用ください



作成コーナー

【西大寺税務署からのお知らせ】

確定申告会場のご案内



▷開設期間 令和7年2月17日（月）～3月17日（月）※土日祝は除く

▷相談時間 午前9時～午後5時（受付は午前8時30分から午後4時まで）

▷会場 西大寺税務署（岡山市東区西大寺中2-24-13）

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

■上記の開設期間では、ママカリフォーラム（岡山市北区駅元町14-1）でも相談できます。

※相談にはママカリフォーラム用の入場整理券が必要です。

■確定申告会場では、原則としてご自身のスマートフォンを利用して確定申告書などを作成するため、マイナンバーカードをお持ちの人は次のパスワードとともに持参してください。

①「利用者証明用電子証明書」（数字4桁）

②「署名用電子証明書」（英数字6文字以上16字以下）

■申告会場への入場には「入場整理券」が必要です。
入場整理券は、当日配付またはLINEアプリによる
オンライン事前発行で取得できます。

※オンライン事前発行は、来場希望日の10日前から申し込み可能です。

※入場整理券（当日配付分）の配付状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります。



国税庁LINE公式
アカウント



年頭挨拶

100年先へ、

人の輪がつながるまちを目指して

あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、瀬戸内市は、市制施行20周年を迎えました。これを記念して市民の皆さまが瀬戸内市に誇りを持ち、活力あるまちをつくっていくことを目的に、11月1日を「瀬戸内市民の日」として制定しました。市制施行10周年以降、「100年先へ、人の輪がつながるまち」を目指して、新病院の建設による地域医療の充実、市民図書館の整備による市民の学習の場の提供、錦海塩田跡地へのメガソーラーの誘致や新電力会社設立などによる脱炭素社会の実現、高校生までの医療費の無償化や育児用品購入チケットの交付など新たな子育て支援策の充実、公共交通の整備などに取り組んでまいりました。また、クラウドファンディングによる日本刀「太刀 無銘 一文字（山鳥毛）」の購入や企業の誘致など、地域の活力、市の魅力・価値の向上につながる取り組みを行ってまいりました。

一方で近年、人口減少や新たな感染症、激甚化・頻発化する自然災害への対応や、労働環境の質の向上や多様な人材の確保を目指した働き方改革など、新たな課題も出てきております。

このため、50年先を見据えた「土地利用計画」、多様な人材が活躍できる職場環境やワークライフバランスの推進による「ダイバーシティ社会の実現」、DXの推進による「デジタル社会の実現」、自助・共助・公助による「災害に強いまちづくり」など地域課題の解決に向けたさらなる取り組みが求められています。

今後も市民の皆さまとの対話を深めながら『瀬戸内市に住みたい、住み続けたい』とっていただけるまちづくりを推進していきますので、皆さまの一層のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆さまにとりまして本年が明るく希望に満ちた一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



瀬戸内市長
武久 顕也

